

# ニュージーランドの金融政策と総選挙の動向

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は6会合連続で政策金利を据え置き。RBNZは中立的な政策姿勢の維持を示唆。
- 4-6月期の実質GDP成長率は前年比+2.5%と市場予想と一致。RBNZは現行ペースでの経済成長の継続を予想。
- 9月23日の総選挙では国民党が単独過半数割れに。国民党政権の続投にはNZファースト党との連立協議がカギ。
- NZファースト党は10月7日以降に連立パートナーを決定する意向を表明。国民党との政策協議が今後の焦点に。

## RBNZは6会合連続で政策金利の据え置きを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は9月28日の政策決定理事会において、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置く決定を下しました(図1)。政策金利据え置きは6会合連続となります。今回の理事会では、ウィーラー前総裁の任期満了での退任に伴い、スペンサー副総裁が総裁代行を務めました。

スペンサー総裁代行は、「相当な期間にわたって緩和的な金融政策が維持されるだろう」と述べ、中立的な政策姿勢を維持する方針を示唆しました。

## RBNZは現行ペースでの経済成長の継続を予想

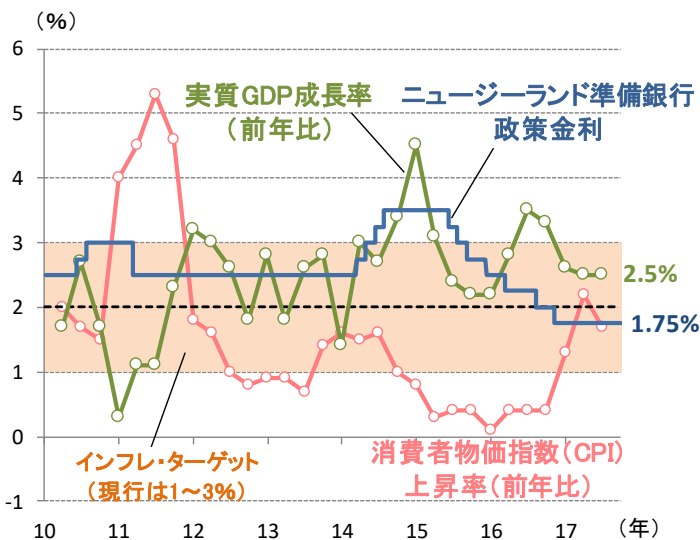
ニュージーランドの2017年4-6月期の実質GDPは前年比+2.5%と市場予想と一致する結果となりました。RBNZ理事会の声明文では、緩和的な金融政策や人口増加、交易条件の改善、財政刺激策などに支えられ、先行きの実質GDP成長率は現行ペースでの推移が続くとの見通しが示されました。

## 政権続投にはNZファースト党との連立協議がカギ

9月23日のニュージーランド総選挙では、イングリッシュ首相率いる現与党の国民党が58議席を獲得したものの、単独過半数の61議席には届きませんでした(図2)。国民党政権の続投となるかは、9議席を獲得したNZファースト党との連立協議がカギを握っていると言えます。

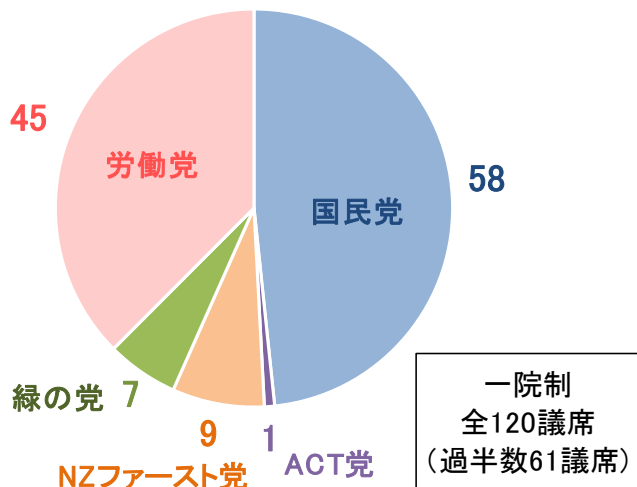
NZファースト党のピーターズ党首は、総選挙の最終結果が公表される10月7日以降に連立相手に関して決定する方針を示しています。労働党や緑の党と連立を組む可能性も残されているものの、保守派のNZファースト党の連立相手としては中道右派の国民党が最有力とみられており、国民党との政策の協議が今後の焦点となりそうです。

図1：政策金利、インフレ率、実質GDP成長率の推移



(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局  
(期間)政策金利:2010年1月5日~2017年9月28日  
CPI・GDP:2010年1-3月期~2017年4-6月期

図2：9月23日のニュージーランド総選挙における政党別獲得議席数(暫定集計)



(出所)ニュージーランド選挙管理委員会  
(注)最終的な選挙結果は10月7日に公表される予定。